



R.I. D.2740 JAPAN  
佐世保ロータリークラブ

会長: 富永 雅弘 幹事: 坂元 崇  
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323  
例会場: 佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181  
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

平成 29 年 10 月 18 日

第 3,280 回例会

NO 15

《本日》 会員数 80 名 (出席免除会員 24 名) ・ 出席 62 名 ・ 免除者欠席 8 名 ・ 欠席 10 名 ・ ビジター 1 名 ・ 出席率 77.50 %

《前々回》 会員数 80 名 (出席免除会員 24 名) ・ 出席 65 名 ・ 免除者欠席 6 名 ・ 欠席 9 名 ・ メークアップ 9 名 ・ 修正出席率 100.00 %

## 会長挨拶

会長 富永 雅弘

10月は「米山月間」と共に「経済と地域社会月間」です。国連は経済と地域社会を発展させるために貧困問題の解消、女性の地位向上、環境の持続可能性の向上が必要であるとしています。ロータリーでは「経済と地域社会月間」を設け、世界中で様々な活動に取り組んでいます。



アルバニアでは養蜂のための巣箱を地元  
の貧困家庭へ提供し、養蜂の技術と生産物  
の販売スキルの研修を実施しました。ナイ  
ジェリアでは配偶者を失った女性に小口融  
資を行いビジネスを成功させるための研修  
を実施しました。インドでは家族を養わな  
ければならない少女や女性に食品加工、服  
飾仕立てなどの職業研修を実施しました。

日本では失業や不完全雇用などの問題や  
職業訓練、社会保障の欠陥が貧困を引き起  
こす深刻な問題であると捉えて、様々な機  
関と連携して若者の就労体験や労働問題の  
解決に取り組んだり、地域の起業家やリー  
ダーの支援を実施しているクラブがありま  
す。

若者の貧困の原因として「ブラック企業」  
という存在があります。これは企業が自社  
の利益を過度に追求するために、主に若者  
を使い捨てにするもので、その特徴は、従

業員を使い捨てにする、長時間労働を強い  
る、大量に求人し大量に離職する、賃金の  
設定が低いいわゆるサービス残業が常態化  
している、社内で精神論が強調されてい  
る、パワハラやセクハラがまかり通って  
いる、仕事が評価されずノルマが厳しい、  
などが挙げられています。

高度経済成長期には「モーレツ社員」が  
もてはやされていましたが、人々の意識や  
社会情勢の変化が「人間らしさ」を求め  
るようになった反面、自由経済競争社会が  
過激に進行する過程で生じた「人間性の軽  
視」との軋轢が表面化した問題だといえ  
ます。

ロータリーで「職業奉仕」の理念の提唱  
者であるシェルドンは、雇用主と従業員  
の関係を1921年の「The Rotarian」で、「  
よく奉仕する企業に顧客が付くように、  
よく奉仕する雇用主にはよい従業員が  
集まる」「よく奉仕する従業員には適  
正な報酬や昇進を与えるのはよい雇用  
主の役割である」と述べています。そ  
してこれは「お互いの感情的な関係で  
はなく、健全な経済の一法則として理  
解されなければならない」とも述べて  
います。

私たちロータリアンはこのシェルドン  
の言葉を自覚し、自身の企業の経営に  
常に気を配り、企業の存続、発展を通  
じ「経済と地域社会」へ貢献してゆく  
姿勢が求められていると考えます。

## 例会記録

- ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」
- 卓話者  
児童養護施設 清風園  
園長 川添 聡様
- ビジター  
佐世保南RC 池内 章雄さん

## 幹事報告

幹事 坂元 崇

1. (公財法)ロータリー米山記念奨学会  
「ハイライトよねやま211号 2017年10月12日発行」が届いております。
2. 第2740地区ガバナー 駒井 英基さん  
R財団委員長 西川 義文さん  
ロータリー財団セミナーのご案内  
日時／2017年11月12日(日) 12:30受付  
13:00開会 17:00終了予定  
会場／東彼杵町総合会館  
クラブ出席者／会長、幹事、国際奉仕担当理事およびR財団委員長
3. 陸上自衛隊相浦駐屯地  
「機関紙『つくも』第73号・号外(創立62周年行事)」が届いております。

## 委員会報告

■ローターアクト委員会 長浜 陽介  
長崎国際大学RAC例会開催のお知らせ

日時／10月19日(木)  
19:00(食事)～

会場／長崎国際大学 食堂

日時／10月26日(木)  
19:00(食事)～

会場／ホテルオークラJRハウステンボス

※ご出席されますと、メイクアップにもなりますので、ご活用ください。

## ■R奉仕プロジェクト委員会

委員長 大神 吉史

### 社会奉仕セミナー報告

10月15日(日)、ガバナーエレクト 福田金治さん、次期地区幹事 増本一也さん、ガバナー事務局19名ならびに105名のロータリアンの参加で、社会奉仕セミナーが開催されました。



まずはじめに「本年度 社会奉仕の目標」を地区社会奉仕委員長 帯屋 徹さんから、「3つの活動方針」が発表されました。

1.「ロータリーデー」の推進、2.地区補助金を活用した社会奉仕事業の拡大、3.「児童虐待防止推進月間」の取り組み強化について説明がありました。

次に「社会奉仕とITイメージ向上委員会の連携」という題目で、IT公共イメージ向上委員長 久保泰正様より、情報の拡散と、MY ROTARYについての登録の意義についてのビデオがありました。FaceBookやインスタグラムなどで、もっと一般の方々に活動して来た内容を知ってもらう努力が必要であることを言っておられました。

最後に、ロータリー財団2014～15年度 地区補助金奨学生 松本浩司様に「児童虐待の実情とロータリアン」を演題としてお話いただきました。内容的には児童虐待について「子供を守る月間」や「なぜ虐待がおこるのか？」など、ロータリアンとして行動してもらいたいお願いなどを発表いただきました。

本年度において担当委員会では児童施設の子供達とふれあう行事を計画していますが、どのようにして継続的な行事となし、子供達と接することができるかを考え、行動し、その結果が良き社会人への育成と、(川添園長には失礼な事になるかと思いますが)児童施設に入らなければならない子供達をいかに減らしたか！という事に結びつけられる活動を行いたいと思っております。

是非とも、皆さんのお力添えが必要です。今後の取り組みに関心を持って頂くことへのお願いと、今回の社会奉仕セミナー参加のご報告とさせていただきます。

## ■ロータリー情報・文献記録委員会

委員長 大神 邦明

### 新会員研修会及び歓迎懇親会のご案内

下記の通り新会員を対象とした研修会を行います。新会員にとりましては必修の研修会ですのでご出席ください。



セミナーは在籍中に2回受講が義務となっており、他クラブ経験者の方は1回受講が義務です。なお、研修会終了後、歓迎懇親会を開催致しますので引き続きご出席ください。

期日／平成29年11月15日(水)

時間／新会員研修会 16:00～18:20

新会員歓迎懇親会 18:30～20:00

会費／6,000円

会場／レオプラザホテル佐世保

(三浦町4-28 TEL22-4141)

## 囲碁・将棋同好会より

囲碁・将棋同好会 幹事 平尾 幸一

10月20日(金)17時頃よりTULLY'S COFFEEの3Fを貸し切りまして、囲碁・将棋大会を開催します。中澤 剛団長も参加されます。現在、11名が参加予定で、夕食は大久保会員が吟味を重ねた和食の弁当です。参加されたい方は、明日までに平尾または大久保会員までご連絡ください。



## 慶 祝

出席・例会委員会 安部 雅隆

### ○出席100%表彰

- 高田 俊夫さん (23回)
- 中村 徳裕さん (17回)
- 田中 信孝さん (15回)
- 松尾 慶一さん (12回)
- 高畑 和憲さん (1回)



## ニコニコボックス

親睦活動委員会 福田 金吾

佐世保南RC 池内 章雄さん

佐世保南から参りました池内です。お世話になります。よろしくお願い致します。

富永 雅弘会長、坂元 崇幹事

池田 真秀副幹事、徳川 晃尚さん

福田 金治さん、増本 一也さん

松本 英介さん、大神 邦明さん

大神 吉史さん

児童養護施設「清風園」園長 川添 聡様の卓話に期待してニコニコします。

梅村 良輔さん

先週、長男がやっとやっとやっと結婚致しました。吉澤様ご夫妻のご媒酌で無事に済ますことが出来ました。ホテルオークラJRハウステンボス赤木社長にも良くして頂きました。皆様に感謝申しあげます。自祝の意味でニコニコさせていただきます。近い？将来、佐世保ロータリークラブの会員に入れて頂ければと思います。

高田 俊夫さん、中村 徳裕さん

田中 信孝さん、高畑 和憲さん

出席100%表彰ありがとうございます。

ニコニコボックス 本日合計 24,000円  
累 計 401,000円

## 卓 話

### 「社会福祉法人 清風園の歴史と役割」

児童養護施設 清風園  
園長 川添 聡 様



戦前期に創設された養老院（現在の老人ホーム）において、戦火をくぐり抜け、現在まで施設が継続している例は少ないといわれている。

1924（大正13）年、市内本島町境内に「佐世保養老院」を創設。当初の入所者は85歳と75歳の男性、83歳の女性、計3名であった。その後、院舎の拡張が必要になり、1925（大正14）年、稲荷町に新築移転して本格的な事業を開始し、現在は和町にて事業を行っている。

創設当時の特徴として、「院則」では養老院にもかかわらず「貧困児をも収容保護」することを規定しており、児童の収容の記録が残されている。それが後の保育所、児童養護施設の創設につながっていった。

戦前期において、国からの支援が十分に期待できない中、孤児や貧児、高齢者等への救済は当園を含めた民間の慈善事業においてなされ、地域の土壌で実践され、そこから施設の社会化や公共化につながっていったのである。

1928（昭和3）年、託児所（現在の保育所）「海光園」創設。当時の保護者には海軍関係者が多いという傾向で、佐世保という軍港の地域性がもたらしており、1932（昭和7）年の「上海事変」を契機に、佐世保の戦時色が次第に濃くなったことにより、昭和12年以降は、入所定員200名を超える園児数であった。

戦後、日本において早急に対応すべき政策の一つが、戦争孤児など戦争の犠牲になった要保護児童に対する児童保護政策だった。

1948（昭和23）年、養護施設（現在の児童養護施設）「清風園」創設。戦災、引揚、浮浪児の収容保護を本格的に開始する。その年の厚生省による全国孤児一斉調査では、12万3千人もの18歳未満の孤児がいると報告されている。

社会的養護ニーズは時代によって変化し、戦争孤児の受け入れから、高度成長期には保護者がいるにもかかわらず、適切な監護が受けられない子どもから、近年では虐待を受けた子どもの入所となっており、施設では家族関係を調整する機能と、虐待を受けた子どもへの治療的な関わりの提供が求められている。

参考文献：井村圭莊（2015年）『日本の社会事業史』（学文社）

#### \* 11月 例会卓話者予定 \*

- 11月1日 新会員 黒江 章雄さん  
(株)九電工 佐世保営業所長)
- 11月8日 米山奨学生 リン カミン君  
(台湾出身 学校：長崎外国語大学)
- 11月15日 新会員 川添 秀則さん  
(長崎文化放送(株) 佐世保支社長)
- 11月22日 オリジナル(株) 福岡支店  
医療国内営業本部 九州営業部  
支店長・部長 瀧口 正晴 様
- 11月29日 ウルトラマラソン世界選手権  
メダリスト 望月 千幸 様

#### \* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 \*

日時／10月26日(木) 19:00(食事)～  
会場／ホテルオークラJRハウステンボス

- \* 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。  
\* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：中嶋 徹)

(カメラ担当：川添 秀則)

### クラブ会報委員会

委員長 筒井 和彦  
副委員長 徳川 晃尚

委員 田中 信孝・中川 知之・西田 勝彦  
木下 貴夫・中嶋 徹・川添 秀則